

- 私は、子供に自分の意見を押しつけているようだ。
- 私は、子供を障害者（問題児）としか見ていない。
- 私は、子供について、その時によって気持ちが変わらるようだ。

(3) 共感的理の調査

- 私は、子供の気持ちをそのまま感じている。
- 私は、子供が口で言えないような気持ちでも理解できる。
- 私は、子供の発言がよくわかる。
- 私は、子供の立場から考えることができる。
- 私の気持ちは、子供に通じている。
- 私は、子供にぴったりした話をしている。
- 私は、子供のものの見方がわからない。
- 私は、子供の言うことを、時に違った意味に解釈している。
- 私は、子供を自分の立場で解釈している。
- 私は、子供を物指しにあてはめて見ている。